

次期札幌市アイヌ施策実施プランのアイデアを募集します

札幌市では、「アイヌ文化の振興」、「アイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発」、「アイヌの人々が誇りを持って生活するための環境の整備」に向けて、アイヌ施策推進地域計画「札幌市アイヌ施策実施プラン」を策定し、各種事業を実施しているところです。

このたび、令和6～10年度の次期実施プランを策定するに当たって参考とするためのアイデアを以下のとおり募集します。

1 札幌市アイヌ施策実施プランの位置付け

札幌市アイヌ施策実施プランは、以下の法律や基本方針に基づき策定し内閣総理大臣の認定を受けたもので、本プランに基づく事業の実施に要する経費のうち基準を満たすものについては、国のアイヌ政策推進交付金を財源の一部として事業を実施しております。

- ・「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」（アイヌ施策推進法、令和元年5月施行）
- ・「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本方針」（令和元年9月決定）

2 募集内容及びテーマ

職場や学校、家庭、地域活動といった日々の生活を通じて、「アイヌ文化の振興」や「アイヌの人たちが安心して生活できるまちづくり」などに向けて「やりたいこと」、「やってほしいこと」がありましたら、別紙「提案用紙」にご記入の上、下記「4 提出方法」のいずれかにより提案してください（記入いただける範囲で構いません）。

3 募集期間

令和5年4月3日（月）～5月15日（月）

4 提出方法

(1) 郵送、持参、ファックスの場合

最終ページの「提案用紙」に必要事項を記入の上、下記宛先に提出してください。

(2) 電子メールの場合

メールのタイトル（件名）を「次期札幌市アイヌ施策実施プランのアイデアについて」として、氏名（ふりがな）・住所・電話番号・メールアドレスを記入の上、下記宛先に送信してくだ

さい。

なお、次の URL には「提案用紙」（マイクロソフト・ワード）も用意しておりますので、ご活用ください。

○提案用紙（マイクロソフト・ワード）

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/ainushisaku/documents/teianyoushi.docx>

【宛先】 札幌市アイヌ施策課 事業調整担当

・ 郵送先：〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎 13階

・ ファックス：011-218-5153 ・ 電子メール：ainushisaku@city.sapporo.jp

5 現札幌市アイヌ施策実施プラン等の閲覧

本募集案内の配架先に備え付けているもののほか、以下の URL からご覧いただけます。

○札幌市アイヌ施策実施プラン

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/ainushisaku/ainushisakujiissiplan.html>

○アイヌ政策推進交付金事業実施要綱・要領、アイヌ政策推進交付金交付要綱（内閣府ホームページ）

<https://www8.cao.go.jp/ainu/index.html>

6 注意事項

- ・ ご提出いただいたアイデアの検討状況・結果について回答や公表はいたしませんので、予めご了承ください。
- ・ お知らせいただいた電話番号やメールアドレスに連絡させていただき、詳細を確認させていただく場合があります。可能な範囲でご協力ください。

【お問い合わせ】

札幌市 市民文化局 市民生活部 アイヌ施策課（市役所本庁舎 13階）

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

電話 011-211-2277 ファクス 011-218-5153

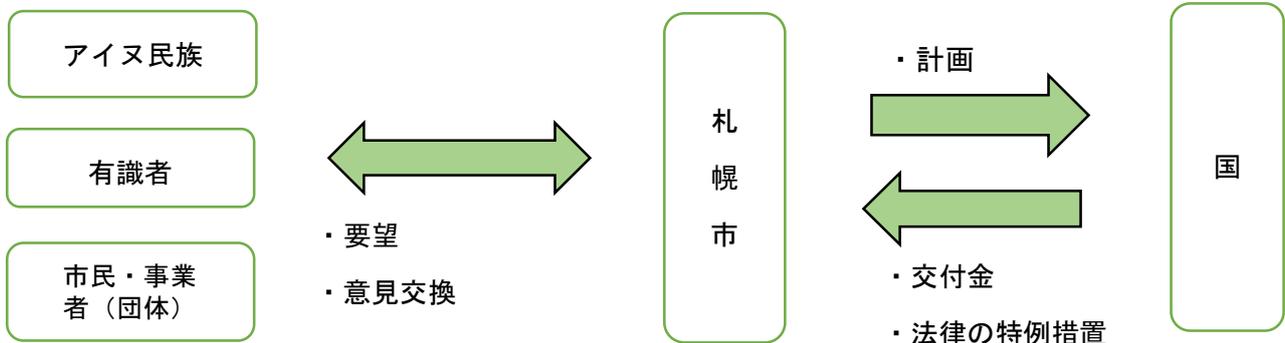
電子メール ainushisaku@city.sapporo.jp

市政等資料番号

02-D03-23-686

アイヌ施策推進地域計画及びアイヌ政策推進交付金の概要

アイヌ施策推進地域計画「札幌市アイヌ施策実施プラン」



札幌市のアイヌ政策推進交付金事業（例）

1 アイヌ伝統的生活空間の再生事業

アイヌ民族の伝統文化活動に必要となる自然素材の確保に向け、環境を整備しています。また、以下のようなアイヌ文化の体験交流を行っています。

- ・アイヌ料理の調理
- ・民具づくり
- ・アイヌの子ども遊び



体験会で調理したアイヌ料理

2 アイヌ伝統文化振興事業

アイヌ文化を気軽に体験し、理解を深めるきっかけづくりとして、以下のような講座を開催するとともに、アイヌ文化に関する情報発信を行っています。

- ・アイヌ文様刺しゅう作品の制作
- ・木彫作品の制作
- ・北海道大学周辺のアイヌ民族ゆかりの場所をめぐるツアー
- ・アイヌ民族の歴史



アイヌ文様刺しゅう作品制作の様子

3 アイヌ文化交流センターリフレッシュ事業

アイヌ民族の歴史や伝統文化に触れることができる拠点として、アイヌ文化交流センターの展示物のさらなる充実に取り組んでいるほか、アイヌ文化を体験する様々な講座等を実施しています。

また、外国人観光客に向けた情報発信のため、展示物の多言語化にも取り組んでいます。



アイヌ文化交流センター展示室

4 アイヌ文化関連の観光プロモーション事業

アイヌ文化の理解促進に向けた観光プロモーションの一環として、民族共生象徴空間「ウポポイ」やアイヌ文化交流センターを周遊ルートとしたバスツアーを実施しています。



ウポポイ見学の様子

5 アイヌ文化のブランド化推進事業

アイヌ文化に関連した商品のブランド化（独自の価値の浸透、定着）に向けて、商品開発やテスト出展、プロモーション活動を行っています。

また、アイヌ工芸品等の販売機会の確保に向け、札幌駅前通地下歩行空間やサッポロファクトリー等で、販売会を開催しています。



販売会開催の様子

6 児童生徒を対象としたアイヌ文化体験交流事業

アイヌ文化に関するコミュニティ活動を促進するため、以下のような取り組みを行っています。

- ・アイヌ民族の児童生徒への学習支援
- ・児童生徒を対象としたアイヌ文化の団体体験プログラム
- ・アイヌ民族の歴史・文化等への興味・関心を高めるため、「伝統楽器体験」や民族共生象徴空間「ウポポイ」における体験学習等



体験プログラムでの舞踊披露

提案用紙（次期札幌市アイヌ施策実施プランのアイデア）

氏名	(ふりがな)	住所	〒
電話 番号		メール アドレス	
やりたいこと やってほしいこと			
提案の詳細 (自由記入)	(背景・現状・課題、目標・将来像、実施手法などを可能な範囲で記入してください)		

【記載例】 提案用紙（次期札幌市アイヌ施策実施プランのアイデア）

氏名	(ふりがな) さっぽろ たろう	住所	〒060-8611
	札幌 太郎		札幌市中央区北1条西2丁目
電話番号	011-211-2277	メールアドレス	ainushisaku@city.sapporo.jp
やりたいこと やってほしいこと	路線バスの車内でアイヌ文化交流センターのPRをしたい。		
提案の詳細 (自由記入)	<p>アイヌ文化交流センターは、アイヌ民族が育んできた独自の文化を体験できる拠点として、平成15年に南区小金湯に設置された。</p> <p>館内にはおよそ300点にわたるアイヌ民族の民具が展示されているほか、伝統楽器の演奏や舞踊の披露など、伝統文化の体験・交流イベントが開催されている。</p> <p>しかし、令和2年度の市民意識調査によると、札幌市民の認知度は36.6%にとどまっており、アイヌ文化の振興のためには同センターの認知度向上、ひいては来館者の増加が課題となっている。</p> <p>このような中で、今回の提案は、バスの乗客に向けて停留所案内を兼ねてアイヌ文化交流センターのPRを行うものである。停留所の確認の観点から乗客の車内放送への関心度は高く、結果としてアイヌ文化交流センターの認知度を高める効果があると考えられる。</p> <p>具体的には、地下鉄真駒内駅から定山溪温泉までの路線バス（じょうてつバス）車内放送で、アイヌ文化交流センターのPR放送を実施する。</p> <p>定山溪温泉の宿泊施設利用者数は新型コロナ感染拡大前の平成27年度～令和元年度を見ると年平均約120万人となっており、札幌市内でも有数の観光地となっている。</p> <p>定山溪温泉への交通手段は自家用車と路線バスの2つであり、自家用車が主ではあるが、路線バスも一定数利用されている。また、この路線バスはアイヌ文化交流センターの最寄りバス停である「小金湯」を経由する。</p> <p>そこで、この路線バスの車内放送で、アイヌ文化交流センターのPR放送を実施することで、路線バス利用者に同センターを認知してもらうとともに、その結果として同センターの来館につなげることを目指す。</p>		